

# 10/25(土) 第5回初級ニュースレクチャー開催

初級ニュースレクチャー全6回シリーズも第5回目を迎えました。あと2回を残すのみです。



## 第5回のテーマ「鏡の世界から脱出せよ(ψ5~ψ6、そしてψ7へ)」

前回は「次元観察子ψ5」の解説でした。ψ5という空間が、それまでの4つの空間(ψ1、ψ2、ψ3、ψ4)を全て統合するということに重点を置いて説明いたしました。第5番目の空間は、ペンターブ・システム(4つが1つになり新しい1を創る)から見ても「1つの完成」であり、ここにおいて「真の自己」が確立されるとお伝えしました。

次元観察子ψ5とは自己が形成されている空間領域のことです。ψ5は位置の等化によって顕在化を起こし、人間の内面と外面を統合します。シリウスファイル:19920204

勘の良い方は既にお気づきかもしれませんが、ψ5までは「他者が出てきません」。自分一人の世界(宇宙)の確立です。次元観察子を目覚めさせる(顕在化)作業において、この所の所がとても重要になります。

次元観察子ψ6とはψ5の裏側に見えてくる空間領域のことです。ψ5とψ6は変換人の内面の対化に相当しています。シリウス革命P270

ψ5の裏側に見えてくる空間領域であるψ6とは何か・・・そうです、ψ5(自己)に対するψ6(他者)なのです。ψ5とψ6・・・ここにおいてやっと「自己と他者」の関係が出てくるのです。

ψ5(自己)の確立なしに、それ以上の次元に進むことはあまりいい結果をもたらすとは思えない。徹底して個体化していくこと・・・これが悪の発生を防ぐ最も理性的な態度だと言えるだろう。シリウス革命P319

自己と他者が相まみえる時、それは希望の時であると同時に様々な問題を生じる時でもあります。この領域におけるボタンの掛け違えが、宇宙の全体に渡って深刻な問題をもたらすこととなります。

人間の意識は次元観察子ψ5までは比較的、簡単に方向を持つことができるのですが、ψ5とψ6という対化における等化が難しい状態に置かれています。それは、ψ5とψ6が対化の本質を持っているからなのです。その意味においては次元観察子のψ7とは等化の本質を意味するものなのです。シリウス革命P303

自己他者問題「ψ5とψ6」。そしてその等化であるψ7の顕在化。2013年から始まるハーベストプログラム「位置の変換」とは、私たちの意識がこのψ7という「自己と他者が一体となった領域」を見出していくことに他なりません。その領域を見出していくことが、変換人となる私たちに託されるミッションなのです。 text by 川瀬統心

### 【第4回 初級ニュースレクチャー概要】

■日時：2014年10月25日(土曜日)

- ・開場 午後1時
- ・開始 午後1時半~4時半

テーマ 鏡の世界から脱出せよ

■場所：健康道場サラ・シャンティ

■料金：3,000円(当日3,500円)資料代含む

■問い合わせ・お申し込み先

関西ニューソロジー研究会

事務局 オフィス・バランスライフ

TEL 06-7652-8609 FAX 06-4400-2725

mail: info@kansai-noos.com

※参加希望の方は、電話/FAX/メールなどにて  
当方までご連絡下さい。

**「テキスト+DVD」第1回~3回  
まで購入可能。第4回はまもなく完成。予習や復習に。**

各回ともテキストと合わせて税込3780円(セミナーの当日価格に同じ)で販売しています。お問い合わせは左記事務局か、サラシャンティ事務局(078-802-5120)まで。

